

受講のお申込み 開始
2019年2月1日(金)

WEBでのお申込み

同志社大学東京オフィスサイトのお申込みフォームをご利用ください。



<https://tokyo-office.doshisha.ac.jp/entry/entry.html>

FAXでのお申込み

FAX **03-6228-7262**

同封のお申込み用紙をご利用ください。*電話でのお申込みは受けておりません。

同志社大学 東京オフィス 平日 9:00~17:00

〒104-0031

東京都中央区京橋2丁目7番19号

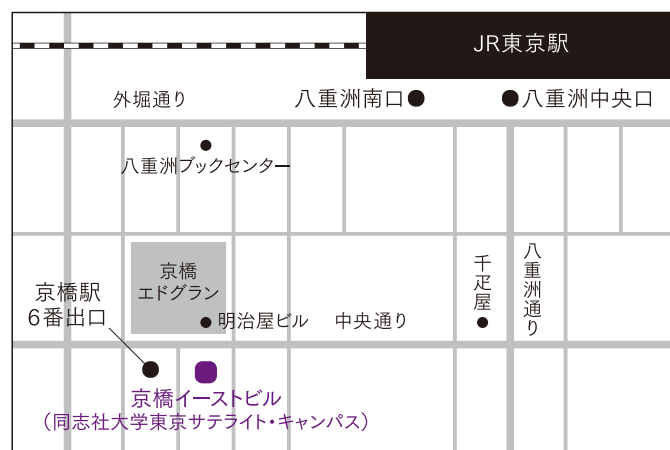
京橋イーストビル3階

(中央通り沿い 明治屋ビル向かい 1階にみずほ銀行)

TEL:03-6228-7260 FAX:03-6228-7262

メール: ji-toky1@mail.doshisha.ac.jp

<https://tokyo-office.doshisha.ac.jp/index.html>



- JR「東京」駅 八重洲南口 徒歩6分
- 東京メトロ銀座線「京橋」駅 6番出口 徒歩1分
- 東京メトロ有楽町線 「銀座一丁目」駅7番出口 徒歩5分
- 都営浅草線「宝町」駅 A5~A7出口 徒歩3分

DOSHISHA TOKYO HUB

同志社講座

— 2019春学期 —



同志社大学 東京サテライト・キャンパス

Tokyo Satellite Campus, Doshisha University

「グローバル時代を読む～目指すは経済名探偵～」 全5回

グローバル時代といわれ久しい。グローバル化の反動が世界各所で起こっている。では、グローバル時代とはどのような時代なのか。日々世界で人々が繰り広げる事件、事象はグローバル時代の何を現しているのか、そしてどこに向かうのか。この謎解きにチャレンジする経済名探偵養成こそ本講座がめざすところ。謎解きを可能にする力を身につけ、経済を通じて世の中の真相をつかむ「経済名探偵」を目指しましょう。



はま のりこ
講師 浜 矩子 同志社大学大学院ビジネス研究科 教授

1952年東京生まれ。1975年一橋大学経済学部卒業。1990年三菱総合研究所ロンドン駐在員事務所初代所長兼駐在エコノミスト。1998年三菱総合研究所首席研究員・経済調査部長。2002年秋より現職。専門は「国際経済学」「国際金融論」「欧州経済論」。近著:「『通貨』の正体」(集英社/2019)「『共に生きる』ための経済学」(平凡社/2019)「洗脳された日本経済」(日本文芸社/2018)「ついに始まった日本経済「崩壊」」(SBクリエイティブ/2018) 他多数

開催概要 回数: 全**5**回

定員: **15**名

時間: **19:00～20:30**

受講料: **50,000**円 一括のみ
 *お申込み締切 **4月26日**

5回を通じて身につける「謎解きの技」

1. 数字が語る経済物語の読解力
2. 人びとが語るグローバル時代の物語のウソ発見力
3. 経済情報から真相をつかむ力
4. 常識とされている中から非常識を見破る力

本講座は同志社大学大学院ビジネス研究科
 浜教授の講義と同じスタイル、テーマで行います。

第1回
5/28
 火

第2回
6/25
 火

第3回
7/23
 火

第4回
8/27
 火

第5回
9/24
 火

図示
 の例

講座では、まず受講生同士が2チームに分かれ、前回の1ヶ月間に各自が考えた展開案を共有・議論し、ボードにまとめます。その後、チームからの発表、質問、講師も交えての議論を行います。(2018年秋学期謎解きテーマ: 第1回もしトランプのアメリカが国連・IMF・WTOから脱退したら 第2回もし、日本が円単一通貨圏でなくなったら 第3回もしWTOがなくなったら 第4回もし日本に黄色いベスト集団が出現したら)

○宿題 お渡ししたテーマに関する記事や資料を徹底的に読み解いていただき、テーマをめぐる因果・連関関係を皆さんが図示していただくことです。
 ○第5回(最終回)は全員のスピーチ大会です。磨いてきた「謎解き力」の発揮をしていただきます。終了後懇親会を行います。(自由参加) これまでの受講生も参加し、経済名探偵仲間との交流をはかります。

「人的資源を最大限にいかす 5セッション」 全5回

人的資源は競争力の源泉として持続的に競争優位性を確保するための鍵であることは間違いない。人を活用し成果をあげるために、個人と集団の行動についての基礎的理論を学び、その応用として人的資源の活用のために策定される諸施策のねらいについて学ぶ。これらを通じて、経営者として、マネージャーとして、プロジェクトのリーダーとしてあるいは人事担当者として、人的資源を活用して成果を上げる実践的な力を養成する。



いのうえ ふくこ
講師 井上 福子 同志社大学大学院ビジネス研究科 教授

神戸大学博士(経営学)、インディアナ大学MBA(アントレプレナーシップ専攻)、ロンドンスクール・オブ・エコノミクス・アンド・ポリティカル・サイエンスMSc(比較労使関係および人事管理)。日本企業に勤務の後、留学を経て、複数の国際機関および大手外資系企業に勤務。外資系企業では、部長職、人事本部長職等、要職を歴任。国際原子力機関(ウィーン本部)の人材計画課長、上級人事担当官を経て現職。組織マネジメント、人的管理、リーダーシップ、組織変革等の講義を担当。

開催概要 回数: 全**5**回

定員: **15**名

時間: **19:00～20:30**

受講料: **50,000**円 一括のみ
 *お申込み締切 **4月26日**

受講を希望される方へ 設定された課題(予習と提出)を含め、積極的なクラスへの参加を求めます。自分の課題に直結するテーマについて自分の得た知識を他のクラスメートに伝え共に議論することで知識を定着化させ実務にいかしていくことをめざす講座です。各回、講義とプレゼンテーション、テーマに基づいたディスカッションを行います。

1000字以内で①これまでの経歴、②現在の役割、③人のマネジメント(採用、育成、評価、キャリア、チームマネジメント等)について自分なりの課題、それを踏まえてこのセッションを通して何を学びどう今後に役立てたいかをまとめ、初回の1週間前までに指定メールアドレスまで送付。
 *アドレス等は受講生に直接連絡します。

第1回 5/24 金 組織行動、モチベーション

<予習> 16Personalitiesを実施しておく
 URL (<https://www.16personalities.com/ja>)
 『人事管理』(平野光俊著 有斐閣/2018)『モチベーション3.0』(ダニエル・ピンク著 講談社/2015)を読んでおく。「ホラクラシーの光と影」(資料は事前に配布します)を読んでおく。

第2回 6/28 金 よい職場をつくる

<予習> 「不機嫌な職場～なぜ社員同士で協力できないのか」(河合太介・高橋克徳・永田稔・渡部幹著 講談社現代新書/2008)『最高の職場』(M.バーチェル、J.ロビン著 ミネルヴァ書房/2012)を読んでそれぞれについて書評を提出する。「成果主義の評価基準はなぜ間違っていたのか」(資料は事前に配布します)を読んでおく。

全6回

前回で、第一帖・桐壺の巻を読み終わりました。今回からは第二帖・帚木の巻を読み始めます。当巻の前半は、有名な雨夜の品定めです。そこに書かれている女性論は、現代にも通じる優れた批評です。しかも注意して読めば、痛烈な男性論にもなっています。室町時代になると、雨夜の品定めには書かれた女君を、登場人物に当てはめるようになります。その結果、桐壺の巻は序章で、帚木の巻は源氏物語の総論として位置づけられ、重視されました。当時の風習などにも触れつつ、初心者の方にも理解できるよう、読み進めていきます。東京サテライト・キャンパスでの昼下がり、光源氏の世界に浸ってみませんか。

いわたぼ たけし
講師 岩坪 健

同志社大学文学部 教授

1957年京都市出身。1981年京都大学文学部国語学国文学科卒。1989年大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。1991年「源氏物語古注釈の研究 - 中世源氏学の流れ-」で文学博士。1989年「源氏物語の二段階伝授について―河内方と四辻善成―一条兼良をめぐる」で第16回日本古典文学会賞受賞。2014年「源氏物語の享受 注釈・梗概・絵画・華道」で第15回紫式部学術賞を受賞。

開催概要

回数: 全**6**回

定員: **50**名

時間: **14:00～15:30**

受講料: **18,000**円 一括のみ

教材:

「赤ちゃん学入門講座」



～ヒトのはじまりを科学で探る～

赤ちゃん学は、いまだ解明されていない胎児から始まる成長・発達とその障害のメカニズムを研究する学問です。赤ちゃん学入門講座は「ヒト」の不思議を学びたいすべての方に新たな視座を提供します。

第1,2回
5/18
土

13:30～ 第1回 赤ちゃんの「さわる」

講師 小西 行郎 こにし ゆくお

ナンだらけの赤ちゃんですが、このところ感覚についてはだいぶ研究が進んできました。が、触覚の研究はとてむずかしく、胎児期に一番先に出現し、自己の身体認知や運動との関係の中で最も重要な役割があることについてもあまり語られていないように思います。赤ちゃんは「さわる」ことから人生をスタートします。胎児期の触覚について超音波による行動観察やその観察データを用いた胎動のシミュレーションなどを紹介し、その後の「さわる」の発達について、皆さんと考えたいと思います。

第3,4回
6/15
土

13:30～ 第3回 赤ちゃんの「食べる」

講師 上野 有理 うえの あり

進化と発達の観点から「食べる」を考察すると、人間の根源的な特徴がみえてきます。それは、子どもの「食べる」は本来、他者とのやりとりを前提とすることです。生まれてしばらくはミルクのみを口にする赤ちゃん。1歳も過ぎるとさまざまな物を食べるようになります。赤ちゃんはどのような過程を経て、さまざまな物を食べるようになるのでしょうか。そこに他者はどのように関わるのでしょうか。赤ちゃんの「食べる」の発達について、進化の視点を交えてお話しします。

第5,6回
7/20
土

13:30～ 第5回 赤ちゃん「睡眠」

講師 三池 輝久 みいけ てるひさ

日に日に新しいことを学習し続ける子どもの活発な脳活動は、エネルギーと神経伝達物質を大量に消費します。それらを補充し、エネルギー消費に伴う老廃物を洗い流し、脳細胞の動きを元気に保つのが「睡眠」の大きな役割です。子どもにとって大事な眠りの要素は、持続時間より「時間帯と規則性」なのですが、その動きを営む概日リズム体内時計は新生児期には未完成なので、乳幼児期の夜ふかしは体内時計形成に影響を与えるだけでなく、将来の心身の発達・健康にも負の影響を及ぼします。

第7,8回
8/10
土

13:30～ 第7回 赤ちゃんの「学ぶ」

講師 乙部 貴幸 おとべ たかゆき

大人は、赤ちゃんにこれから多くのことを学ぶよう期待するものです。しかも、赤ちゃんのうちにより多くのことを学ばせようとさせることもあるでしょう。反面、赤ちゃんが、何をどのように学ぶのかということについては、まだ科学的には明らかになっていないことの方が多のが現状です。本講座では、現在のところわかっている乳児期の学習の過程に関するトピックをいくつか取り上げ、赤ちゃんが学ぶことの意味を問いかけたいと思います。

第9,10回
9/21
土

13:30～ 第9回 進化に学ぶ子育て

講師 竹下 秀子 たけした ひでこ

人間の赤ちゃんの心やからだは生物進化と社会文化の産物です。赤ちゃんの生まれ方や育ち方を、チンパンジーをはじめとする大型類人猿と種間比較することで、人間発達の進化的基盤と種独自性が浮かび上がってきます。最近までの研究から、直立二足歩行や道具使用、ことばの獲得に加えて、社会性や共感の力、自己理解や協同の力、現在・過去・未来につながる「時間」とかかわる力が人間的な心の進化の核心だと理解されてきています。これらの特性を健やかに育む社会文化の重要な柱が「保育」です。

開催概要

回数: 全10回 土曜開催1日2コマ
定員: 100名 時間: 13:30～15:00
15:10～16:40
受講料: 30,000円 一括のみ
資料: 当日講師より配布いたします
*法人での受講も可能です。

15:10～ 第2回 赤ちゃんの「聞く」

講師 藤井 進也 ふじい しんや

音を「聞く」脳のしくみや、言語や音楽の知覚、発達における聴覚の役割についてお話しします。ヒトはいつからか音を「聞き」「愛で」「奏で」、音を「楽しむ」ようになります。「なぜヒトは音楽を手にしたのか」という問いは大きな科学のミステリーの一つ。赤ちゃんの「聞く」を知ることは、ヒトにとっての音楽の起源を知ることであります。赤ちゃんの音を聞く脳のしくみや音楽の脳に与える影響、発達における音楽やリズムの役割など、ヒトと音楽のミステリーに迫る面白さをお伝えします。

15:10～ 第4回 赤ちゃんの「見る」

講師 山口 真美 やまぐち まさみ

赤ちゃんは、どんな風の世界を見ているか、想像できますか?数々の実験から、赤ちゃん世界の不思議がわかってきました。私たちの実験から、言葉を獲得する前に色カテゴリーがわかること、金色がわかることが解明されました。しかしながら、赤ちゃんは大人と全く同じに世界を見ているわけではないのです。大人が当たり前のように感じている「恒常性」のない世界にいます。幼い赤ちゃんは、大人が気づかない、照明の変化に気づきます。赤ちゃん世界の不思議を解説します。

15:10～ 第6回 赤ちゃん「環境」

講師 志村 洋子 しむら ようこ

現在の保育の環境は実に多種多様です。特に都会では待機児童解消が最優先にされ、交通騒音が大きいところやガード下でも新しい保育園、こども園は造られています。では、赤ちゃんの聞こえや言語獲得、赤ちゃん自身の身体感覚への「騒音」や「振動」の影響は全く無いのでしょうか?赤ちゃんがみずから環境とかかわって、日々遊び、探索できる保育空間になっているのでしょうか?赤ちゃんの育ちを支える「環境空間」の条件を、幾つかの視点から考えます。

15:10～ 第8回 赤ちゃんの「話す」

講師 麦谷 綾子 むぎたに りょうこ

人間は生まれてからわずか数年のうちに、ことばを操るようになります。この驚異的な発達の第一歩は、お母さんのおなかにいるときからすでに始まっています。近年の研究の蓄積から、乳児期の音声言語発達過程の詳細なプロセスが明らかになるとともに、赤ちゃんの音声への高い感受性、周囲の大人の語りかけやかかわり方の重要性も指摘されるようになってきました。赤ちゃんの声とことばの発達について、実証的な研究方法やその結果を交えながら具体的に解説していきます。

15:10～ 第10回 赤ちゃん「つながる」

講師 遠藤 利彦 えんどう としひこ

近年、保育や幼児教育の領域において、とみに人の一生涯にわたる心身の健康や幸せの土台になるものとして、乳幼児期に培われる非認知的(社会情緒的)な心の力に注目が集まっています。その非認知的な心の力とは何なのか、その豊かな発達を支え促すものとして、なぜ、親や保育者といった周囲との大人との緊密なアタッチメント、すなわち感情的につながっているということが、とりわけ大切な役割を果たすと言えるのか、ということについて考えてみたいと思います。

講師プロフィール



小西 行郎 こにし ゆくお
同志社大学赤ちゃん学研究センター長 / 教授

小児科医、日本赤ちゃん学会理事長。京都大学医学部卒業後、福井医科大学、埼玉医科大学、東京女子医科大学などを経て、2008年10月より現職。専門は小児神経学。医学博士



藤井 進也 ふじい しんや
慶應義塾大学環境情報学部 専任講師

京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程 修了。専門は音楽神経科学。日本学術振興会特別研究員、海外特別研究員、東京大学大学院特任助教を経て2016年より現職。博士(人間・環境学)



上野 有理 うえの あり
滋賀県立大学人間文化学部 教授

京都大学大学院理学研究科生物科学専攻博士課程を単位取得退学後、東京大学21世紀COE特任研究員、日本学術振興会特別研究員を経て2017年度より現職。博士(理学)



山口 真美 やまぐち まさみ
中央大学文学部心理学研究室 教授

お茶の水女子大学大学院博士課程人間発達学専攻単位取得退学。ATR人間情報通信研究所等を経て現職。日本顔学会、日本心理学会理事。新学術領域「顔・身体学」領域長。博士(人文科学)



三池 輝久 みいけ てるひさ
熊本大学名誉教授 / 小児科医

小児神経科医。日本眠育推進協議会理事長。概日リズム睡眠障害と不登校、新生児・乳幼児期睡眠障害と発達障害の関連について研究を進めている。睡眠を専門とする。医学博士



志村 洋子 しむら ようこ
埼玉大学名誉教授 / 日本赤ちゃん学会常任理事

同志社大学赤ちゃん学研究センター嘱託研究員。研究分野は乳幼児の歌唱音声の発達、乳児音声とマザリーズ音声の音響分析的研究。保育室空間の音環境。博士(教育学)



乙部 貴幸 おとべ たかゆき
仁愛女子短期大学幼児教育学科 准教授

筑波大学大学院博士課程心理学研究科修了後、(独)科学技術振興機構戦略的創造研究推進事業CREST研究員を経て、現職。日本赤ちゃん学会評議員。博士(心理学)



麦谷 綾子 むぎたに りょうこ
NTT コミュニケーション科学基礎研究所 主任研究員

東京大学大学院医学系研究科修士課程および同大学大学院総合文化研究科博士課程修了。専門分野は音声言語発達。言語獲得のメカニズムを実証的に研究している。博士(学術)



竹下 秀子 たけした ひでこ
追手門学院大学心理学部 教授

82年から京都大学霊長類研究所共同利用研究員、93年からオランダ、ベルギーの動物園でチンパンジーとボノボの比較研究に従事。2017年より現職。京都大学博士(教育学)



遠藤 利彦 えんどう としひこ
東京大学大学院教育学研究科 教授

専門は発達心理学・感情心理学。東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得後退学。発達保育実践政策学センター(Cedep)副センター長。九州大学博士(心理学)

「～生活習慣を変える講座～

抗糖化研究最前線」

体の糖化は老化や様々な疾患の進展要因としてアンチエイジング分野で注目されています。抗糖化への近道は糖化のメカニズムや影響を正しく知り、無理なく継続できる方法を身につけることです。本講座では、糖化のメカニズム、血糖値対策、AGEs対策の3回に分けて学び、実習します。第2回と3回では希望者に、会場にて自分自身の血糖値、AGEs蓄積量測定の場を設け、測定値から生活習慣を見直す機会を作ります。



講師 八木 雅之 やぎ まさゆき

同志社大学 生命医科学部
糖化ストレス研究センター チェア・プロフェッサー教授

京都府立大学大学院農学研究科博士課程修了。糖化ストレス研究会理事。日本抗加齢医学会評議員。分析・試業、機能性食品メーカーに勤務後、2011年から現職。糖化の測定法や糖化抑制対策、抗糖化食材などの研究を進めながら、「糖化は老化」をキーワードに、アンチエイジングや疾病予防としての抗糖化に関する普及啓発活動などを進めている。農学博士(京都府立大学)

開催概要	
定員: 100名	回数: 全3回
時間: 14:00～15:30	
受講料: 9,000円 一括のみ	
資料: 当日講師より配布いたします	

第1回 6/26 水 研究最新報告 糖化メカニズムを知る

糖化はタンパク質が糖と結合することで物理的、生理的な劣化を起こす現象です。体の糖化は老化や糖尿病、認知症、骨粗鬆症などの進展要因になります。第1回は、糖化がどのように起こり、組織や器官にどのような影響があるのか、糖化を普段の生活で避けることができるのか、などについて学びます。知ることは最大の防衛です。糖化のメカニズムを正しく知って抗糖化への第一歩を進めましょう。

第2回 7/17 水 ホントに怖い「血糖値スパイク」 血糖値測定で体感

糖化の原因のひとつには高血糖があります。近年、食後の急激な血糖値上昇「血糖値スパイク」の繰り返しは、糖化による老化や慢性疾患発症の引き金になることがわかってきました。第2回は身近な食品を食べると、どのように血糖値が上昇するのかを自分自身で測定し、体感していただきます(希望者のみ)。血糖値スパイクを避けるための方法は、食事、生活習慣の観点から臨床試験データをもとに解説します。

第3回 8/7 水 知られざる「AGEs」 その蓄積を防ぐ方法

糖化が進むと体にはAGEs(糖化最終生成物)という老化物質が蓄積します。AGEsの蓄積はタンパク質の褐色化、硬化、炎症誘導など、様々な組織の機能低下に繋がります。第3回は最新の測定機器を使って自分自身のAGEs蓄積量を測定します(希望者のみ)。またAGEsの生成や蓄積を防ぐ方法は、様々な抗糖化食品素材の研究データや、蓄積したAGEsを分解する素材の可能性について解説します。

現代に生きるキリスト教ー 神学を学ぶと世界がよくわかる」

通年全10回



さとう まさる
講師 **佐藤 優** 同志社大学神学部 客員教授
作家・元外務省主任分析官

1985年同志社大学大学院神学研究科修了後、外務省入省。主任分析官として対ロシア外交の最前線で活躍。2009年外務省を失職。2005年『国家の民 外務省のラスプーチンと呼ばれて』で第59回毎日出版文化賞特別賞を受賞。2006年『自壊する帝国』で第5回新潮ドキュメント賞、第38回大宅壮一ノンフィクション賞受賞。『獄中記』『同志社大学神学部』など著作多数。近著『未来のエリートのための最強の学び方』(集英社インターナショナル/2019)『宗教改革の物語 近代、民族、国家の起源』(角川ソフィア文庫/2019)『近代神学の誕生 シュライアーマハー「宗教について」を読む』(春秋社/2019)

第1回 4/9 火

キリスト教を学ぶ意義(1)
キリスト教の本質が救済宗教であること、また有限な人間が無限で絶対的な神について語ることができる根拠について説明する。一般の学問と神学の本質的違いについて重点的に解説する。

第3回 6/4 火

神学の方法論
神学の方法が、宗教学や社会学と異なることを明らかにする。神学において多用される類比(アナロジー)、隠喩(メタファー)の意義について説明する。存在の類比と関係の類比の差異について考察する。

第5回 8/6 火

三一論の構成
内在的三一論と経綸的三一論の違いについて説明する。その際に、東方正教会とカトリック教会・プロテスタント教会のアプローチが異なる結果、教会論と救済論に与える影響について考察する。

第7回 10/1 火

創造について
無からの創造というキリスト教の創造論の特徴を説明した上で、神が創造した世界に悪がある理由について考える。神が、人間のもたらす悪に対して責任を負わないとする神義論に対する理解を深める。

第9回 12/3 火

創造と終末の関係について
神が創造した世界に終わりがある理由について考察する。終わりが同時に目的と完成であるという目的論的かつ終末論がキリスト教倫理において重要な意味を持つことについて説明する。

開催概要 2019年4月から2020年1月までの通年講座です。

回数: **通年全10回** 定員: **100名**

時間: **18:30~20:00** 受講料: **30,000円** 一括のみ

教材: **佐藤優著『神学の思考』**(平凡社/2015)『**神学の技法**』(平凡社/2018)『**聖書**』(2018年12月に刊行された新翻訳である聖書協会共同訳、旧約聖書統編を含む引照付きを強く推薦する)を毎回持参すること。*各自でご用意ください。

第2回 5/7 火

キリスト教を学ぶ意義(2)
純粋なキリスト教という概念が原理的に成立しないことを明らかにする。キリスト教の土着化について掘り下げた考察を行う。キリスト教における物語の重要性について説明する。

第4回 7/2 火

啓示について
キリスト教においては、イエス・キリストにおける特殊啓示が決定的に重要な意味を持つことについて説明する。イエス・キリストを三一論の枠組みで理解することの重要性についての理解を深める。

第6回 9/3 火

召命について
神と人間の関係を召命というキーワードによって説明する。人間の弱さと、キリスト教という名の偶像崇拜が起きる可能性を脱構築する契機が召命の中にあることを明らかにする。

第8回 11/5 火

神の収縮について
キリスト教が説く創造は、人間が常識的に考える創造と本質的に異なる論理構成を持っていることを明らかにする。その際に、ユダヤ教のカバラ思想を援用した神の収縮という概念が重要になることに注意を喚起する。

第10回 1/21 火

復活について
人間が死ぬと肉体だけでなく魂も滅びる。それにもかかわらず、靈魂不滅説のようなグノーシス主義の影響がキリスト教に入り込んだ理由について考察する。復活が救済に不可欠の条件であることへの理解を深める。

同志社講座 ～お申込みから受講までの流れ～

○2019年春学期 講座の受付 **2月1日(金) 開始**

○お申込み方法

WEB 同志社大学東京オフィスサイトのお申込みフォームをご利用ください。



<https://tokyo-office.doshisha.ac.jp/entry/entry.html>

同志社講座春学期 検索

*同志社講座のご案内サイトは下記に引越しました。ご注意ください。

<https://tokyo-office.doshisha.ac.jp/index.html>

FAX

03-6228-7262

同封のお申込み用紙に必要事項を記入し、FAXにてお申込みください。

東京オフィス窓口

同志社大学東京オフィスで直接お申込みいただけます。

受付時間

平日 **9:00~17:00**

各講座とも定員になり次第、受付を終了いたします。

○**受講料のお支払い** 事前振込み制の講座以外は初回に受付でお支払いください。受付でのお支払いは現金のみです。開講後もしくは振込み後は受講料の払い戻しはいたしません。

○**事前振込み** 開講決定次第、「振込み依頼書」を郵送いたします。指定日までにお振込みください。期日までに入金確認できない場合は受講いただけません。ご入金後1週間を目安に「受講票」をお送りします。

○**開講のご案内** 開講が決まりましたら「受講票」をお送りします。受講票(ハガキ)は1講座1枚です。万が一、開講できない場合は、初回の一週間前までに申し込まれた方にご連絡いたします。

○**受講開始** 講座日は持参を指定された教材がある場合は教材と受講票をご持参ください。受講票を講座受付にお出しください。出席印を押印いたします。最終回まで保管をお願いします。全回出席の方には、最終回に「修了証」をお渡ししています。

○**受講時の注意事項** 講義の録音、録画、講義中の写真撮影はご遠慮ください。講師から許可があった場合は録音することができます。講義中は携帯電話の電源を切ってくださいか、マナーモードにしてください。

○**休講・補講** 1、講師の都合および、事故、台風、天災、交通機関ストライキ等によりやむを得ず休講する場合があります。その際に当初の日時を変更する場合があります。
2、休講及び補講の連絡は、決定次第お伝えいたします。
3、突然の天変地異や事故などにより休講が当日判明した場合は、同志社大学HPに掲載し、メールもしくは電話にてお知らせします。

○**受講キャンセル、当日の欠席** 1、お申込み後にキャンセルする場合は、同志社大学東京オフィスまでご連絡ください。電話、メールで承ります。
2、受講されている講座を欠席された場合、後日その日に配布された資料をお渡ししますのでお申し出ください。一部、欠席連絡を要する講座につきましては、講座初回にご案内します。

「簡単に伝わる英会話 ～ネイティブ表現でトレーニング～」

隔週全10回

海外旅行でもっとスマートに話せたら…、旅行者に道を聞かれた時答えたい…、海外の友人と親しく話したい…。中学英語レベルの単語とフレーズなのに、とっさに言葉が出てこないのはなぜでしょうか?それは、自然なフレーズ、英語的表現が身につけていないから。本講座は、会話フレーズの作成とアウトプットを行いながら状況に応じた自然な会話力をつけていきます。



まえだ くみ
講師 **前田 久美** 英語講師

インターナショナルスクール高校課程卒業後、米国大学で秘書科を専攻。帰国後企業勤務を経て英語講師に。以来20年以上英語教育に携わり、大学や大手企業で幅広い層のクラスを担当。明るく分かりやすい授業と英語力を定着させる指導力に定評がある。

90分の進行例

○**ウォーミングアップ** 宿題の発表 作成した会話を2人一組で行います。

○**本日のレッスン** 1>今週のフレーズの紹介～繰り返し発話練習、会話をグループで練習 2>映画の1シーンでリスニングトレーニング、会話練習

○**ホームワークアサイン** キーワードを提示します。テーマにそった会話の作成などが宿題です。

第1回 4/9 火 第2回 4/23 火 第3回 5/7 火

第4回 5/21 火 第5回 6/4 火 第6回 6/18 火

第7回 7/2 火 第8回 7/16 火 第9回 7/30 火

第10回 8/6 火

開催概要 回数: **隔週10回**

定員: **16名** 時間: **15:00~16:30**

受講料: **21,000円** 一括のみ 資料: 講師より配布いたします

「英会話力と文法ブラッシュアップ講座」

隔週全10回

本講座は英語のニュースを題材に展開します。そのニュースのポイントや背景を話題にした会話にチャレンジします。感想や意見がご自分の言葉で発信できるよう、ネイティブが日常使う表現、美しい発音、流暢なリズム、正しい文法で話すトレーニングを繰り返します。海外から戻り使う機会が減ったが英会話力をキープしたい、英文法に自信はあるけど思うようには話せない、単なる日常会話だけでなくニュースで見聞きしたことを話題にしてみたい。そんな方むけの夕刻からの英会話講座です。



まえだ くみ
講師 **前田 久美** 英語講師

インターナショナルスクール高校課程卒業後、米国大学で秘書科を専攻。帰国後企業勤務を経て英語講師に。以来20年以上英語教育に携わり、大学や大手企業で幅広い層のクラスを担当。明るく分かりやすい授業と英語力を定着させる指導力に定評がある。

90分の進行例

○**ウォーミングアップ** ホームワークで作成した短い文章を一人一人発表。

○**本日のトピックス レッスン** 1>まず、タイトルからイメージしたことを言葉に 2>キーワードの語彙やフレーズを紹介 3>ディクテーション 4>発話練習/提示した「ニュース」をテーマに意見交換

○**ホームワークアサイン**

第1回 4/9 火 第2回 4/23 火 第3回 5/7 火

第4回 5/21 火 第5回 6/4 火 第6回 6/18 火

第7回 7/2 火 第8回 7/16 火 第9回 7/30 火

第10回 8/6 火

開催概要 回数: **隔週10回**

定員: **16名** 時間: **18:30~20:00**

受講料: **21,000円** 一括のみ 資料: 講師より配布いたします